横浜臨床育児・保育研究会

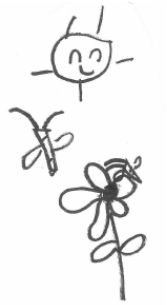
２０１４年度学習会のお知らせ

年間テーマは、「<子どもから始まる保育>を考える」

学習会開催10年目となる「横浜臨床研＜Ｙ研＞」は、昨年度に引き続き３回の公開学習会を企画。臨床研究の視点をもって取り組んでいきます。第１回目＆第２回目は＜保育実践発表＞、第３回目は、講演会あるいはシンポジウムなどただいま内容検討中です。

【第１回】■日時：2014年6月17日（火）１９：００～２１：００

■会場：鳩の森愛の詩瀬谷保育園　横浜市瀬谷区二ツ橋町８３－３（地図は裏面）



◆テーマ:ケーススタディ

「<仁慈保幼園>での見学１週間を振り返りつつ、自園<鳩の森愛の詩保育園>の保育を改めて語る」

●近江屋希（鳩の森愛の詩保育園）

＜仁慈保幼園（鳥取県米子市）＞http://jinji.hoikuen.to/

◆ファシリテーター：汐見　稔幸（白梅学園大学学長）

【第２回】■日時：2014年9月１２（金）１９：００～２１：００

■会場：鳩の森愛の詩瀬谷保育園　横浜市瀬谷区二ツ橋町８３－３（地図は裏面）

◆テーマ：ケーススタディ

「＜子どもから始まる保育＞のために
…保育観の共有、園生活や行事のあり方を考える（仮）…」

●朝比奈太郎（むくどり風の丘保育園）

＜むくどり風の丘保育園＞

http://www.kazenooka.ed.jp/

◆ファシリテーター：汐見　稔幸（白梅学園大学学長）

【第３回】

◆日時：2014年１２月２０日（土）13：００～17：００…予定

<子どもから始まる保育>を考える
…子どもを「人間としてみる」ということ…

汐見　稔幸（白梅学園大学学長）他、＜詳細未定＞

◆定員：各回とも２００名

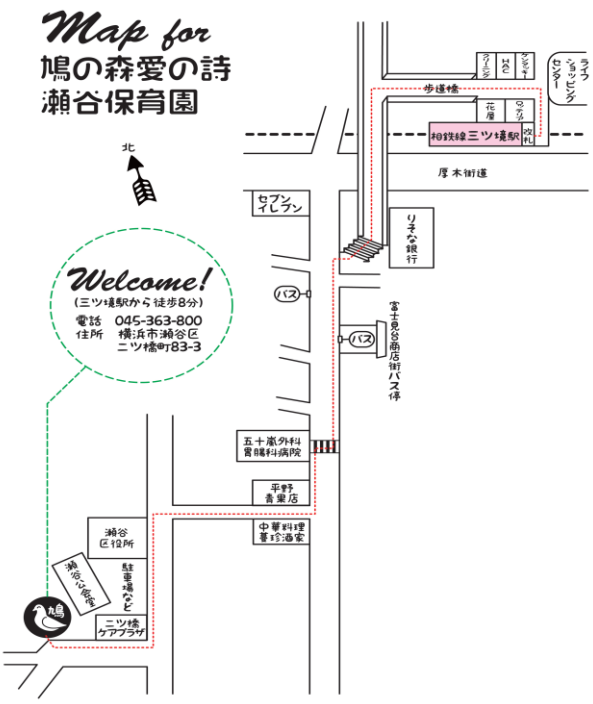
◆参加費　３回分計「5,000 円」（★第１回開催当日、会場にて）。

…「３回参加」のお申し込みで、お仲間と①～③交代でご参加いただいてもＯＫです。

◆お申し込み・お問い合せ

メールの件名に【Ｙ研２０１４年度学習会申し込み】と書いて、①お名前、②ご所属、③ご連絡先電話番号、④メールアドレス、⑤１回のみ参加ご希望の場合は参加回を明記の上、下記までお送りください。お問い合わせについてもメールでお願いいたします。

★お申し込み・お問い合わせ先：　hatonomori-08@hatonomori.jp



※最寄り駅は、「三ツ境」です。(隣の「瀬谷」駅ではなく)
「三ツ境」駅から徒歩の場合は、「瀬谷区区役所」を越えた先(向こう側)…になります。

↓園のエントランス

<横浜臨床育児・保育研究会について>

＜横浜臨床育児・保育研究会＞は、2005年に活動を開始し、2014年で10年目を迎えます。子どもたちの生きる姿から大人たちも互いに喜び合える気持ちを共有しつつ、日々、刻々と変わる社会情勢を広く深く知り、私たちが直面する保育問題をみなで分かち合い学び合っていこうと、毎回、さまざまなテーマに沿って活動を続けています。横浜市内の保育園・幼稚園ご勤務の方々を中心に、子どもの育ちと保育のありかたに関心があるかたでしたら、市内在住勤務に関わらず、どなたでも、ぜひご一緒に……、というゆるやかな集まりです。 **・主宰:汐見稔幸＆世話人:横浜市内現場保育者チーム**

【活動履歴】 (敬称略、プロフィールはいずれも当時)

■2005年 6月4日(土)「ていねいな扱いを必要とする子どもと保育」 ●中川信子(言語聴覚士)
10月29日(土)「メディアの影響を考える」 ●土谷みち子(関東学院大学)
■2006年 6月17日(土) 「実践報告と助言」 ●汐見稔幸(白梅学園大学)
■2007年 6月23日(土)「実践報告と助言」 ●汐見稔幸(白梅学園大学)
■2008年 5月17日(土)「発達と保育を学ぶ(全 3 回シリーズ)」 ●加藤繁美(山梨大学)
(第2回:7月 19日(土)、第3回:10月 18日(土))

■2009年
5月30日(土)「発達と保育を学ぶ 保育現場に今求められていること」 ●汐見稔幸(白梅学園大学)
7月11日(土)「発達と保育を学ぶ 配慮の必要な子どもの理解と対応」 ●上原文(県立保健福祉大学
9月19日(土)「発達と保育を学ぶ 保護者とより良い関係を築くための保育カウンセリング」●冨田久枝(鎌倉女子大学児童学部)
11月21日(土)「発達と保育を学ぶ 保育と絵本」 ●中村征子(青山学院女子短期大学)

■2010年
1月16日(土)「発達と保育を学ぶ 子どもの心の発達・子どもをめぐる環境」●上原文(県立保健福祉大学)
6月12日(土)「あなたの保育に夢や希望が見えますか」 ●汐見稔幸(白梅学園大学)
7月10日(土)「子どもの発達理解」 ●冨田久枝(鎌倉女子大学)
9月18日(土)「参加者のエントリー事例報告と助言」 ●冨田久枝(鎌倉女子大学)
12月11日(土)「絞り込んだ共通事例からの学びと助言」 ●冨田久枝(鎌倉女子大学)

■2011年
1月29日(土)「子どもの発達理解、実践、振り返りを通して自分を知り、保育の喜びを見つけよう」●冨田久枝(鎌倉女子大学)
7月16日(土)「今、大切なことは?」●汐見稔幸(白梅学園大学)
10月29日(土)「こんな時代の保育の希望」●大豆生田啓友(玉川大学)

■2012年
6月10日(日)「子ども・子育て新システムを学ぶ」●汐見稔幸
「子どもと森へ出かけてみれば」●小西貴士＆汐見稔幸
7月20日(金)…ケーススタディ＜1＞…2つの新聞記事とひとつの事例から。大人のありかたについて…
9月13日(木)…ケーススタディ＜2＞…遊びへの意欲から浮かびあがる子どもの姿…
12月7日(金)…ケーススタディ＜3＞…1歳高月齢＆2歳低月齢混合クラスでの事例…

■2013年
9月25日(水)…子ども主体の保育実践の展開① 「ワニワニのはなし。」●鳩の森愛の詩あすなろ保育園
10月19日(土)＜映画「大丈夫。」上映会＞および＜●細谷亮太＆●汐見稔幸 対談＞
11月27日(水)…子ども主体の保育実践の展開②
「安心できる関わりをもとに 育つ子どもの姿…ふたりの子どもの事例を通して」
●茅ヶ崎市・社会福祉法人「翔の会＜「うーたん」保育園＆児童発達支援センター＞」

Prof. Toshiyuki shiomi